

献 辞

2021年3月末をもって、人文学部所属の針持和郎教授および笹尾省二教授がご退職なされました。30年間の長きにわたって研究・教育の両面から本学の発展にご貢献いただきました針持教授および笹尾教授に敬意を表し、心より感謝申し上げます。『広島修大論集』第62巻第1号が刊行されるにあたり、これを『針持和郎教授・笹尾省二教授教授退職記念号』とすることといたします。

針持和郎先生は、本学人文学部英語英文学科をご卒業され、本学大学院人文科学研究科（英文学専攻）修士課程をご修了、その後、本学大学院人文科学研究科（英文学専攻）博士課程にその第1期生としてご進学されました。昭和59年に博士課程単位取得後、同年4月に沖縄短期大学（英語科）に専任講師としてご赴任、その後、宮崎産業経営大学を経られ、平成2年4月に本学人文学部英語英文学科にご着任され、助教授、准教授、教授として研究・教育の両面より本学の発展に寄与いただきました。また、本学の運営につきましても、長年にわたり人文学部教務主任として学部長を補佐されただけでなく、2018・19年度には学生センター長の重責を担われました。主なご担当科目は、「言語学入門」、「英文法論」、「英語の諸相」などで、ご専門の英語学に関わる講義・演習科目をご担当いただきました。ご研究については、理論言語学の枠組みによる英語統語論および英語意味論についてのご論考を發表されてこられました。また、先生は大変多趣味で、私が存じている限りでも、溪流釣り、ジョギング、ギター演奏などをご研究とご講義の合間に勤しまれておりましたので、現在はその他のご趣味も楽しまれておられることと思います。

笹尾省二先生は、京都大学教育学部教育学科をご卒業され、京都大学大学院教育学研究科（教育学専攻）修士課程および博士課程にてご研鑽を積まれました。平成元年3月に同上大学院博士課程単位取得後、京都大学教育学部研修員を経られ、平成2年4月に本学人文学部人間関係学科教育学専攻に専任講師として着任されました。その後、助教授、教授として研究・教育の両面より本学の発展を支えてこられました。笹尾先生がご着任時の人文学部人間関係学科教育学専攻は、今日では、人文学部教育学科として、学生定員を増やしつつ、受験生に最も人気のある学科として発展いたしました。その間、笹尾教授には、ご専門の社会科教育だけでなく、全学の資格課程である教職課程の維持・発展に関しましても、その運営の中心的存在として多大なるご尽力を賜りました。私自身、ゼミ学生の教育実習では大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。私とは所属学科が異なっていたため、笹尾先生のご趣味等については存じ上げないのが残念ですが、ご勤務が終わられた夕刻に、キャンパス内外を軽装でウォーキングされているお姿をしばしばお見かけしたことを思い出します。

この『広島修大論集 針持和郎教授・笹尾省二教授退職記念号』には、お二人の先生のご専門である言語・教育分野の論考が多数寄稿されました。これも両先生のご人徳の証であります。お二人の先生の本学および人文学部へのご貢献に深く感謝し、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

人文学部長

水 野 和 穂